

金沢市文化芸術アクションプラン骨子（案）

目的

この度、本市の文化芸術を取り巻く環境の変化を踏まえ、新たな都市像の策定や世界に誇る文化都市金沢推進本部での議論を反映した、概ね10年後を目標年次とする新たなプランを策定し、本市が誇る伝統文化の継承・振興と新たな文化の創造・醸成・発信を図るとともに、文化芸術の持つ多様な価値を活かした実践的な文化芸術施策を推進していきます。

期間

令和6（2024）年4月から令和16（2034）年3月までの10年間

世界に誇る文化都市金沢推進本部会議より

本市の質の高い文化に触れることで、ここに「住む人」は、深い教養と品位を身につけ、まちへの愛着と豊かな心を育むことができ、ここを「訪れる人」は、文化の薫りと美しいまちなみから、都市の品格を感じるができます。

金沢が誇る文化水準の高さを、国の内外に発信し、住む人、訪れる人の双方が、喜びや幸せを感じることができるよう、「心の豊かさの醸成」「未来への継承と発展」「活動環境の充実」「幅広い文化の発信」の4つの方向性のもと、文化都市・金沢のさらなる発展に向けた取組を推進します。

基本理念

概ね10年後の文化都市・金沢の将来像を実現するための根幹となる考え方を基本理念として示します。この基本理念のもと、プランを実践するための様々な施策を推進し、20年先、30年先には、世界から憧れを抱かれる文化都市となるよう取り組んでいきます。

【基本理念】

世界に誇る文化都市・金沢の実現

住む人、訪れる人の双方が、喜びや幸せを感じることができるよう、金沢が誇る文化水準の高さを、国の内外に発信していきます。

金沢市文化芸術アクションプラン骨子（案）



施策の推進

金沢に住む人、訪れる人の双方が、喜びや幸せを感じることができるよう、「心の豊かさの醸成」「未来への継承と発展」「活動環境の充実」「幅広い文化の発信」の4つの方向性のもと、文化都市・金沢の更なる発展に向けた施策を推進します。
また、施策の進捗を測定するため評価指標（KPI）を設定します。

方向性 1

心の豊かさの醸成

幼少期から継続的に文化を身近に感じ体験することで、豊かな心と創造力を育む情操教育に取り組みます。

- 【関連施策】
- ・ アーツカウンシル金沢の拡充
 - ・ 中学生対象の文化鑑賞
 - ・ 子ども向け文化体験 など

方向性 3

活動環境の充実

デジタル技術を活用するなど、文化に関心を持てる機会を創出し、鑑賞や観戦、発表等の活動環境が充実されるよう取り組みます。

- 【関連施策】
- ・ デジタルミュージアムの推進
 - ・ 金沢21世紀美術館の魅力向上
 - ・ 金沢スタジアムを活用したスポーツ文化の推進 など

方向性 2

未来への継承と発展

多様な文化を市民が再認識し、観光や建築などとの連携により、新たな価値を見出し、持続的に発展するよう取り組みます。

- 【関連施策】
- ・ 現代建築レガシーの継承
 - ・ 旧森紙店の保存活用
 - ・ 縁付金箔の保存継承
 - ・ 民間施設の木の利用促進 など

方向性 4

幅広い文化の発信

文化をより身近に感じ、触れる機会を創出することで、まちへの意識を高め、都市のブランド力の向上を図り、国の内外へ発信するよう取り組みます。

- 【関連施策】
- ・ まちの賑わいを創出する文化芸術イベントの開催
 - ・ アウトサイダー・アートの推進
 - ・ 金沢マラソンの充実 など